

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「次世代情報社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

Human centric デジタルツイン構築による新サービスの創出

3. 研究開発課題名

ヒューマンデジタルツインを活用した身体モビリティデザイン

4. 研究開発代表者名(機関名および役職は評価時点)

多田 充徳 (産業技術総合研究所人工知能研究センター 研究チーム長)

5. 評価結果

評点: A 優れている

総評:

本研究開発は、生活者の自立して歩く能力、すなわち身体モビリティを拡張するための情報サービスが容易に利用できる未来社会を目指すものである。これにより、QoL の向上やウェルビーイングの実現、ひいては医療費の抑制と地域社会の活性化につながる事が期待できる。

探索研究においては、歩行や環境の計測を実現するインプリシット計測、運動や行動の変容予測を実現するヒューマンデジタルツインなどの基盤技術を構築するとともに、人工筋を内蔵したスマート装具に対して最適制御器を実装した。また、転倒リスク低減、3次元環境モデルに対して転倒リスクやアクセシビリティ評価を行うための歩行シミュレータを構築したことは評価できる。

今後は、プラットフォームを用いて開発した要素技術を連携、統合するとともに、研究成果から生まれるサービスの社会的価値の最大化に向けた研究開発が発展することを期待する。

以上